



2026年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月10日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2459 URL <https://www.auncon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 信太 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 重行 TEL 0570-05-2459
 定時株主総会開催予定日 2026年8月25日 有価証券報告書提出予定日 2026年8月24日
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期の連結業績(2025年6月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	254	△6.0	△57	—	△50	—	△42	—
2025年5月期	270	△38.7	△105	—	△92	—	△115	—

(注) 包括利益 2026年5月期 △27百万円(—%) 2025年5月期 △119百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年5月期	△5.64	—	△13.2	△7.1	△22.4
2025年5月期	△15.35	—	△29.2	△10.8	△38.8

(参考) 持分法投資損益 2026年5月期 一百万円 2025年5月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期	668	307	46.0	40.96
2025年5月期	760	334	44.0	44.60

(参考) 自己資本 2026年5月期 307百万円 2025年5月期 334百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年5月期	△38	27	△16	421
2025年5月期	△47	1	△16	442

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年5月期の連結業績予想(2026年6月1日~2027年5月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年5月期	7,502,800株	2025年5月期	7,502,800株
2026年5月期	—株	2025年5月期	—株
2026年5月期	7,502,800株	2025年5月期	7,502,800株

(参考) 個別業績の概要

2026年5月期の個別業績(2025年6月1日~2026年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	204	△13.7	△45	—	△54	—	△45	—
2025年5月期	236	△30.6	△88	—	△125	—	△130	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期	△6.08	—
2025年5月期	△17.38	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期	615	293	47.7	39.09
2025年5月期	721	336	46.6	44.80

(参考) 自己資本 2026年5月期 293百万円 2025年5月期 336百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2026年7月22日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年6月1日～2026年5月31日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が見られたものの、金利・為替の変動や国際的な紛争等の地政学的リスク、物価上昇による個人消費への影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、引き続き「業績回復」を最優先課題と位置付け、グローバルマーケティング支援を中核とした事業基盤の強化、営業活動の効率化及び収益性の改善に取り組んでまいりました。既存の海外SEO、海外広告、多言語対応等のサービスについては、顧客企業の海外展開・販路拡大に係る需要を捉え、品質向上及び提案力の強化に努めております。

また、生成AIの普及により検索行動や情報取得のあり方が変化する中、当社グループは、AI検索に対応した新たなマーケティング支援領域として、AI0(AI Optimization)関連サービスの開発及び提供体制の強化を進めております。2025年6月には、AI検索に対応するウェブサイトのSEOコンサルティング支援として「AI0コンサルティング」の提供を開始いたしました。

さらに、AI0領域におけるサービス提供力を高めるため、2025年10月には株式会社AI Hackと業務提携し、AI検索における言及・引用状況の可視化から戦略的改善までを一気通貫で支援する体制を構築いたしました。また、2026年1月には、株式会社AI Hack及び株式会社COLOR ADSとの協業により、AI0領域における総合支援ソリューションの提供を開始いたしました。

加えて、収益源の多様化を目的として、2025年7月にはクラサボ株式会社より損害保険申請サポート「ミエルモ」を譲り受け、運営を開始いたしました。当社がこれまで培ってきたSEO、広告運用及びオペレーション改善の知見を自社事業にも活用することで、既存事業とのシナジー創出及び企業価値の向上を目指しております。

一方で、既存案件の減少に加え、新規サービスの立ち上げに係る体制整備、サービス開発及び人材育成等の先行投資の影響もあり、当連結会計年度においては、売上高は前年同期を下回り、営業損失を計上する結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は254,531千円(前年同期比6.0%減)、営業損失は57,055千円(前年同期は営業損失105,017千円)、経常損失は50,922千円(前年同期は経常損失92,508千円)、親会社株主に帰属する当期純損失は42,323千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失115,137千円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、591,053千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて40.5%減少し、77,794千円となりました。これは、主に長期前払費用の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.4%減少し、162,980千円となりました。これは、主に株主優待引当金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、198,559千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し、307,307千円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の期末残高は前連結会計年度末に比べて21,344千円減少し、421,610千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は、38,302千円(前連結会計年度は47,444千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失41,943千円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、獲得した資金は、27,544千円（前連結会計年度は1,849千円の獲得）となりました。これは、長期前払費用の売却による収入によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、16,459千円（前連結会計年度は16,979千円の使用）となりました。これは、長期借入金返済による支出によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内外の経済活動は緩やかな回復が期待されるものの、金利・為替の変動、物価上昇、国際情勢の不安定化等により、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き先行き不透明な状況で推移するものと見込んでおります。このような外部環境の変化は、顧客企業における広告宣伝投資及び海外展開に係る投資判断に影響を及ぼす可能性があり、当社グループの業績に影響を与える要因になるものと認識しております。

このような環境の中、当社グループは、引き続き「業績回復」を最優先課題と位置付け、売上基盤の再構築及び収益構造の改善に取り組んでまいります。グローバルマーケティング領域においては、既存顧客との取引深耕及び新規顧客の獲得を推進するとともに、生成AIの普及に伴う検索行動及び情報取得行動の変化を踏まえたサービス提供を強化し、顧客企業の課題解決を通じた収益機会の拡大を図ってまいります。

損害保険申請サポート「ミエルモ」については、集客、問い合わせ対応、案件管理及び業務運営に係る各プロセスの整備・改善を進めることにより、効率的かつ安定的に収益を獲得できる体制の構築を図ってまいります。あわせて、当社グループがデジタルマーケティングで培ってきた知見を活用し、既存事業との相互補完による収益源の多様化を推進してまいります。

なお、各施策の効果発現時期及び市場環境の変化については不確実性を伴うことから、当社グループは、費用対効果の検証、案件ごとの採算管理及び経営資源の適切な配分を徹底するとともに、固定費の抑制及び業務効率化を継続し、収益性の改善に努めてまいります。

2027年5月期の連結業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多く、合理的な業績予想を数値で示すことが困難であるため、未定としております。今後、合理的な予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2020年5月期以降、営業損失を計上する状況が続いております。当連結会計年度において、主力であるグローバルマーケティングにおける市場環境の変化や、一部既存案件の解約等の影響により、営業損失57,055千円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象が続いているものと認識しております。

当社グループでは、これらの事象を解消すべく、「業績回復」を最優先課題と位置付け、グローバルマーケティング支援を中核とした事業基盤の強化、営業活動の効率化及び収益性の改善に取り組んでおります。

具体的には、海外SEO、海外広告等の既存サービスの品質向上及び提案力強化に加え、生成AI時代に対応したAI0コンサルティング等の新たなマーケティング支援領域の拡充を進めております。また、損害保険申請サポート「ミエルモ」の運営を通じて収益源の多様化を図るとともに、営業活動の標準化、収益性の高い案件への経営資源の集中、外部パートナーの活用等により、早期の黒字化に向けた収益構造の改善を進めております。

資金面につきましては、当連結会計年度末日現在において、当面の運転資金及び事業投資に必要な資金を確保しており、資金繰りに重要な懸念はないものと判断しております。

以上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在するものの、重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内外の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	442,955	421,610
受取手形及び売掛金	102,056	97,193
販売用不動産	44,179	29,291
その他	40,293	43,103
貸倒引当金	△160	△145
流動資産合計	629,324	591,053
固定資産		
無形固定資産		
のれん	—	15,329
ソフトウェア	0	0
無形固定資産合計	0	15,329
投資その他の資産		
投資有価証券	91,718	61,355
敷金及び保証金	220	114
長期前払費用	39,072	994
貸倒引当金	△226	—
投資その他の資産合計	130,783	62,464
固定資産合計	130,783	77,794
資産合計	760,108	668,847
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,210	72,329
1年内返済予定の長期借入金	19,999	23,629
未払金	35,274	33,194
未払費用	14,822	13,240
未払法人税等	290	290
前受金	15,871	1,760
株主優待引当金	38,733	—
その他	6,028	18,536
流動負債合計	207,231	162,980
固定負債		
長期借入金	208,686	186,566
繰延税金負債	3,901	6,359
長期前受金	5,655	5,633
固定負債合計	218,243	198,559
負債合計	425,474	361,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	538,774	538,774
利益剰余金	△377,873	△420,196
株主資本合計	260,901	218,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,803	11,589
為替換算調整勘定	64,928	77,139
その他の包括利益累計額合計	73,731	88,729
非支配株主持分	0	0
純資産合計	334,633	307,307
負債純資産合計	760,108	668,847

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	270,833	254,531
売上原価	106,627	82,041
売上総利益	164,205	172,489
販売費及び一般管理費	269,223	229,544
営業損失(△)	△105,017	△57,055
営業外収益		
受取利息	453	687
助成金収入	—	300
解約手数料等	21	78
貸倒引当金戻入額	20,245	—
債務勘定整理益	—	4,460
投資事業組合運用益	—	5,693
投資有価証券売却益	442	—
その他	4,467	1,593
営業外収益合計	25,630	12,813
営業外費用		
支払利息	3,780	4,307
為替差損	5,618	2,025
付加価値税等	1,952	—
貸倒引当金繰入額	△110	—
その他	1,880	347
営業外費用合計	13,121	6,680
経常損失(△)	△92,508	△50,922
特別利益		
固定資産売却益	—	163
株主優待引当金戻入額	—	9,454
特別利益合計	—	9,618
特別損失		
投資有価証券評価損	21,985	—
子会社清算損	—	639
特別損失合計	21,985	639
税金等調整前当期純損失(△)	△114,493	△41,943
法人税、住民税及び事業税	644	380
法人税等合計	644	380
当期純損失(△)	△115,138	△42,323
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△115,137	△42,323

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
当期純損失(△)	△115,138	△42,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,045	2,786
為替換算調整勘定	△1,061	12,211
その他の包括利益合計	△4,106	14,998
包括利益	△119,244	△27,325
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△119,243	△27,325
非支配株主に係る包括利益	△1	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	100,000	538,774	△262,735	376,038	11,848	65,989	77,837	2	453,878
当期変動額									
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△115,137	△115,137					△115,137
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					△3,045	△1,061	△4,106	△1	△4,107
当期変動額合計	—	—	△115,137	△115,137	△3,045	△1,061	△4,106	△1	△119,244
当期末残高	100,000	538,774	△377,873	260,901	8,803	64,928	73,731	0	334,633

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	100,000	538,774	△377,873	260,901	8,803	64,928	73,731	0	334,633
当期変動額									
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△42,323	△42,323					△42,323
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					2,786	12,211	14,998	△0	14,998
当期変動額合計	—	—	△42,323	△42,323	2,786	12,211	14,998	△0	△27,325
当期末残高	100,000	538,774	△420,196	218,578	11,589	77,139	88,729	0	307,307

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△114,493	△41,943
減価償却費	1,246	1,173
のれん償却額	—	2,312
為替差損益(△は益)	5,618	2,025
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,877	△242
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	38,733	△38,733
固定資産売却損益 (△は益)	—	△163
投資有価証券売却損益 (△は益)	△442	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	△5,693
投資有価証券評価損益 (△は益)	21,985	—
受取利息及び受取配当金	△453	△687
支払利息	3,780	4,307
売上債権の増減額 (△は増加)	57,040	5,986
棚卸資産の増減額 (△は増加)	36,631	14,689
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45,902	△2,818
その他	△24,693	25,393
小計	△43,827	△34,392
利息及び配当金の受取額	453	687
利息の支払額	△3,780	△4,307
法人税等の支払額	△290	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,444	△38,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
事業譲受による支出	—	△17,642
敷金及び保証金の回収による収入	1,849	117
投資事業組合からの分配による収入	—	5,693
投資有価証券の払戻による収入	—	967
長期前払費用の売却による収入	—	38,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,849	27,544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△16,979	△16,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,979	△16,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△801	5,873
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,376	△21,344
現金及び現金同等物の期首残高	506,331	442,955
現金及び現金同等物の期末残高	442,955	421,610

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、マーケティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産	44.60円	40.96円
1株当たり当期純損失(△)	△15.35円	△5.64円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年5月31日)	当連結会計年度末 (2026年5月31日)
連結貸借対照表上の純資産の部の合計額(千円)	334,633	307,307
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	0	0
(うち非支配株主持分(千円))	(0)	(0)
普通株式に係る期末の純資産(千円)	334,632	307,307
1株当たり純資産の算定に用いられた普通株式の数(株)	7,502,800	7,502,800

3 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△115,137	△42,323
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△115,137	△42,323
普通株式の期中平均株式数(株)	7,502,800	7,502,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。